

# 稲毛海岸地区 区民対話会

- ◆日時:平成27年1月11日(日)  
10時00分～11時30分
- ◆場所:稲浜公民館

1

**【テーマ】**  
**地域の将来像と担い手**  
～持続可能な地域コミュニティの構築～

2

## 地域コミュニティとは

日ごろの生活や活動を通じて作られていく、  
地域の住民や団体どうしのつながりや  
顔見知りの関係



自分たちの住んでいる地域を、  
みんなの力で自主的によくしていく

3

## 地域コミュニティの必要性

### 環境の変化

- 少子高齢化＋単身世帯の増加、子どもの安全、  
防災防犯  
⇒「地域」で支えていく必要のある世帯の増加
- 東日本大震災  
⇒日頃からの身近な人同士の交流の大切さの  
再認識



地域コミュニティの必要性は以前よりも  
高まっている

4

## 地域コミュニティの現状

### 身近なところで増加する社会問題

- 高齢者の所在不明問題  
(消えた高齢者)
- 高齢者の孤立死 年間1万5千人
- 認知症行方不明者 年間1万人
- 児童・高齢者虐待…

### 地域活動の低下

- 町内会、自治会の加入率低下
- 新住民、若い世代等の地域活動への参加が低調
- 「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」といった自助・共助機能の低下

**地域コミュニティの力が弱まっている**

地域の住民同士のつながりが希薄化 ⇒ 無縁社会

5

## 地域コミュニティの力はなぜ弱まったか

### 考えられる理由

- 少子高齢化、人口減少
- コミュニティ活動のきっかけとなる子どもの減少
- 価値観やライフスタイルの多様化
- 地域への愛着・帰属意識の低下
- 昼間に地域にいないことによるかかわりの希薄化

⋮

6

## このままいくと...

- 特定の人だけが地域活動を行う
- 地域団体の役員のなり手がいない
- 役員の高齢化、固定化⇒負担が集中



- 役員の高齢化、少数化によるさらなる活動低下
- 役員が培ったノウハウが継承されない



**地域コミュニティの継続が困難**

今はよくても将来はない...

7

## 地域の目指す将来像を考えてみましょう

例えば...

世代を超えたつながりと幅広い連携により地域活動が充実するまち



- 高齢単身者と地域がつながる機会の増加、拡大
- 子育て世代、若い世代の地域活動への参加の拡大
- ボランティアや大学等と連携する地域活動、団体の増加

8

もう少し具体的に、理想の地域生活を想像してみましょう

例えば...

- どこでもいつでも「挨拶」がある
- 誰でも参加できる楽しいイベントがある
- まちの美化などみんなが活動する
- 災害時などのもしもの備えがある
- 安心の見守りや支え合いがある

→本日の意見交換で、みなさんの考えをお聞かせください

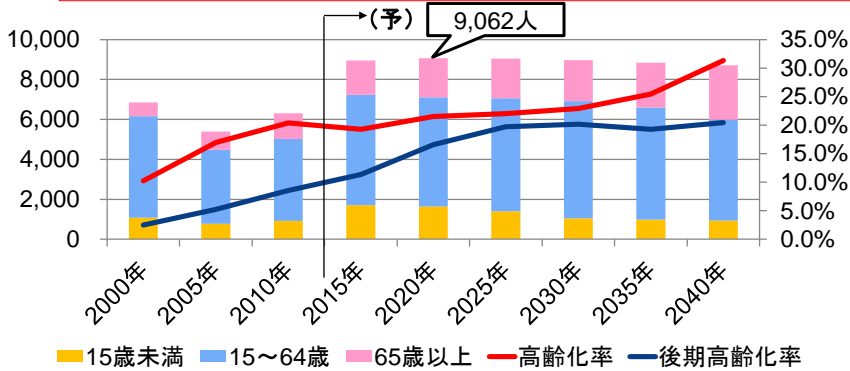
9

稲毛海岸地区の現状

10

## 将来推計人口・年齢別人口構成

- 地区の人口は、5丁目の公務員住宅廃止と新たな開発により、2015年までは人口が大きく変動、その後9,000人程度で横ばい
- 高齢化率は2040年に30%を超える
- 後期高齢者(75歳以上)の占める割合は2025年に約20%に



出典：2000年、2005年、2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

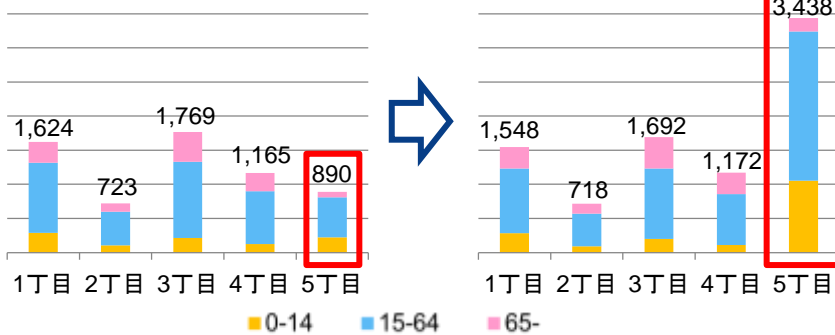
11

## 1丁目～5丁目の人口(5丁目開発前と後の比較)

- 830戸(マンション555戸+戸建265戸)の開発により、5丁目人口は2,500人を超える増

開発前(2011年3月末)  
6,171人

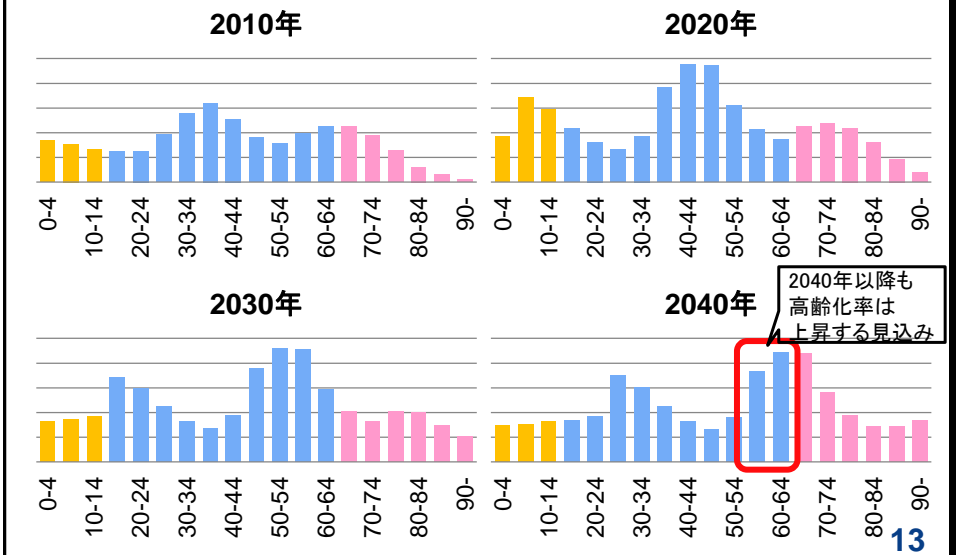
開発後(2014年9月末)  
8,568人



出典：町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

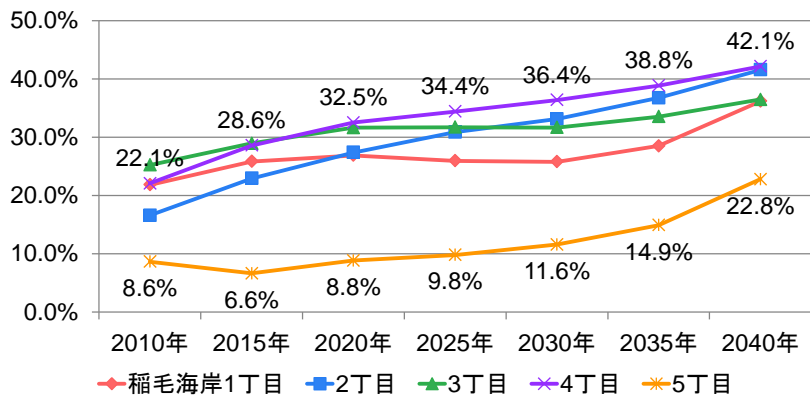
12

## 年齢別人口構成の将来予測



## 高齢化率の将来予測

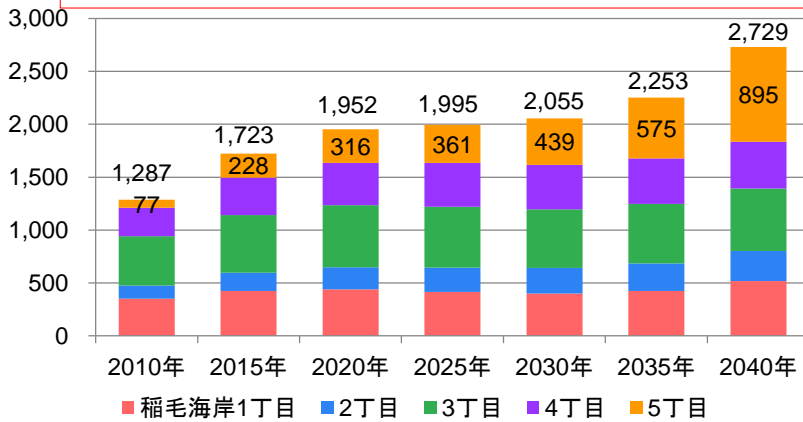
■ 2丁目・4丁目では2040年に40%を上回る



出典: 2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

## 高齢者数の将来予測

- 高齢者数は一貫して増加
- 5丁目が最も増加数大きい

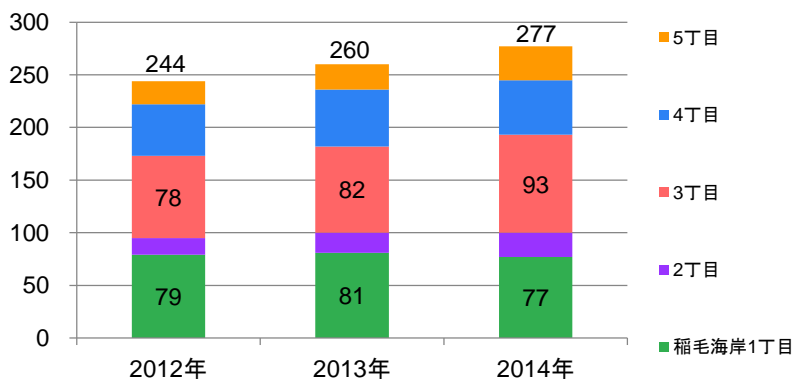


出典：2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

15

## 一人暮らし高齢者の数

- 地区の一人暮らし高齢者の数は増加傾向
- 1丁目・3丁目に多く、3丁目では増加している



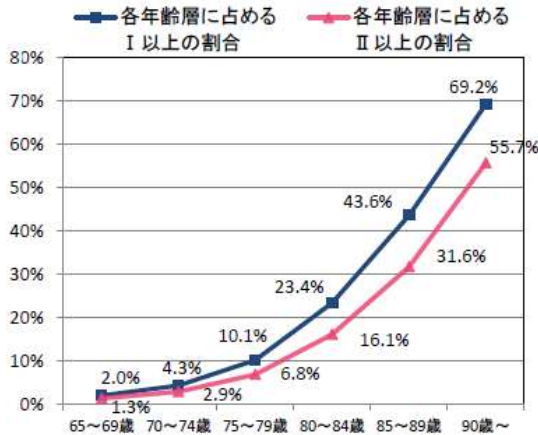
出典：2012～2014年度高齢者実態調査(千葉市高齢福祉課)  
町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

16



## 認知症高齢者の増加

### ■年齢が上がると、認知症の割合が急増



I、II は認知症高齢者の日常生活自立度

I : 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

II : 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

出典：2013年11月 要介護者数・認知症高齢者数等の分布調査(東京都)

17

### ■認知症高齢者の割合は増加を続ける

全国の「認知症高齢者の日常生活自立度」II 以上の高齢者数は2010年で280万人、高齢者の9.5%。

2025年には470万人、高齢者の12.8%となる見込み。

#### 2. 将来推計

(単位: 万人)

将来推計(年)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)
日常生活自立度 II 以上	280 9.5%	345 10.2%	410 11.3%	470 12.8%

※平成24年(2012)を推計すると、305万人となる。

※下段は65歳以上人口に対する比率

#### 【算出方法】

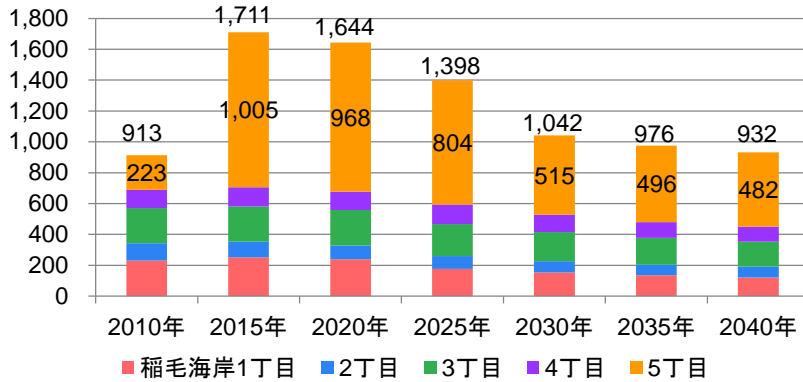
○将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所:H24.1推計。死亡中位出生中位)に、上記1の算出方法による平成22年9月の認知症高齢者割合を性別年齢階級別に乗じて推計した。

出典:「認知症高齢者の日常生活自立度」II 以上の高齢者数について  
(厚生労働省)

18

## 子供の数の将来予測

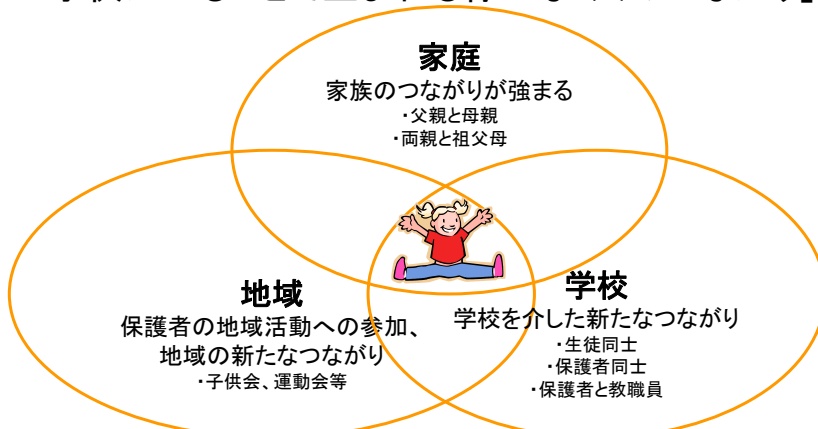
- 5丁目の開発により、2010年から2015年にかけて急増
- その後一貫して減少し、2040年には2010年と同水準に



出典: 2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

## 少子化が地域に及ぼす影響

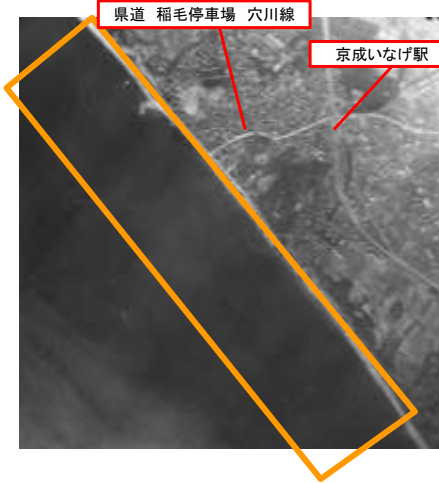
子供がいることで生まれる様々な「人のつながり」



子供の減少＝つながりの減少

(地域コミュニティの弱体化)

## 土地利用の変遷1



1946年 埋め立て前



1965年 埋め立て後、一部で建築

出典：国土地理院空中写真を加工して作成

21

## 土地利用の変遷2



1970年 大規模共同住宅建築



1975年 京葉線開業

出典：国土地理院空中写真を加工して作成

22

### 土地利用の変遷3



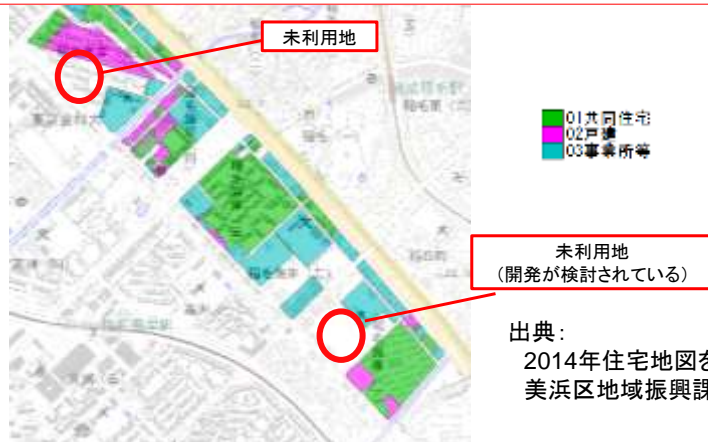
1983年  
稲浜小(1976年)・中(1982年)が開校

2009年

出典: 国土地理院空中写真を加工して作成

### 現在の土地利用

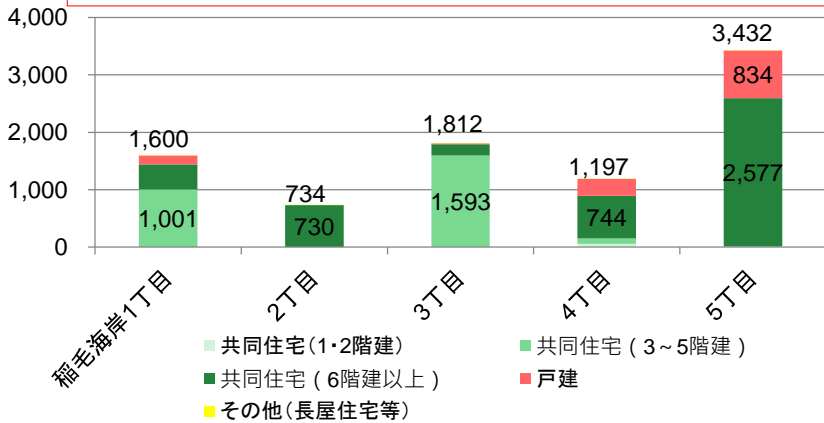
- 共同住宅と事業所が大半を占める
- 戸建は1丁目・4丁目・5丁目に多い
- 大規模な未利用地が2か所。稲浜小学校の南側で100戸を超える戸建の開発が検討されている(市への開発許可申請はまだ)



出典:  
2014年住宅地図をもとに  
美浜区地域振興課作成

## 住宅形態別人口 ※5丁目のみ開発後の推計値

- 地区人口に占める割合は共同住宅が85%、戸建が15%
- 6階建以上の共同住宅が半数を超える
- 戸建は5丁目・4丁目・1丁目に多い

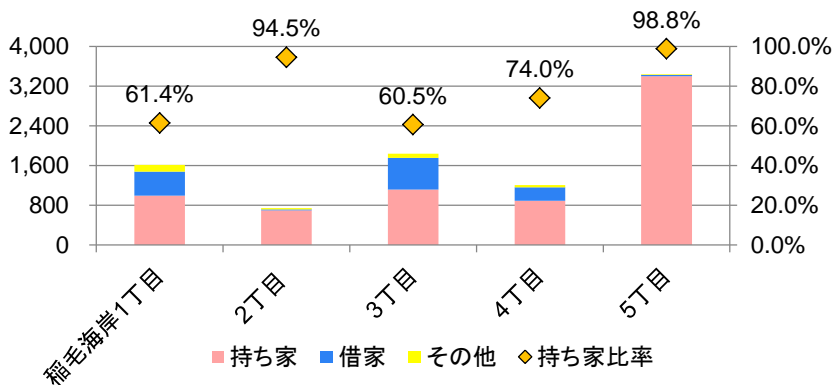


出典:2010年国勢調査 住宅の建て方別主世帯人員に  
5丁目開発による増加推計値を加算して作成

25

## 住宅所有別人口 ※5丁目のみ開発後の推計値

- 2丁目・5丁目はほぼ全て持ち家
- その他は賃貸マンション・アパートや寮があるため、持ち家比率はやや低い



出典:2010年国勢調査 住宅に住む一般世帯人員に  
5丁目開発による増加推計値を加算して作成

26

## 街頭犯罪発生状況

- 平成25年の稲毛海岸地区の重点街頭犯罪件数は他地区より少ない(36件 美浜区全体: 1,035件)
- 自転車盗が7割を占める(26件)
- 空き巣ゼロ(全地区中で唯一)



出典:平成25年町丁別重点街頭犯罪発生件数(千葉西警察署)

27

## 自治会結成状況

- 築年の長い住宅エリアでは概ね結成されている
- 5丁目の戸建エリアや共同住宅の一部など、新しい住宅エリアでの結成が期待される



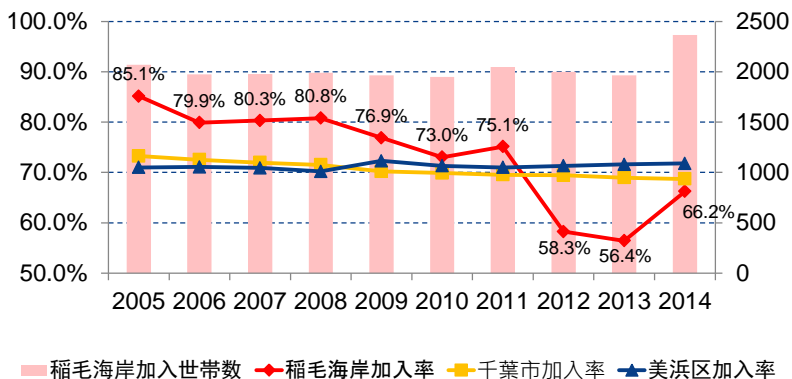
自治会・自主防災組織  
ともに結成済

自治会のみ結成済

28

## 自治会加入率

- 稲毛海岸地区は2011年まで概ね市平均・区平均を上回る
- 2012年以降、5丁目の開発による人口増を受けて急落
- 5丁目のマンションが自治会を結成したため、2014年に上昇

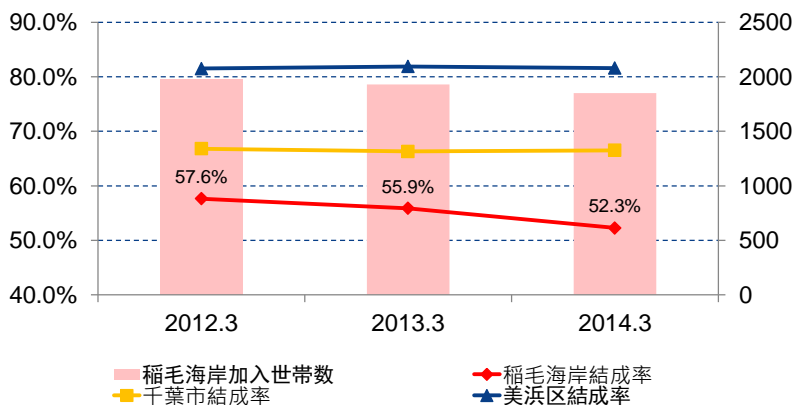


出典：2005～2014年度町内自治会のしおり(千葉市町内自治会連絡協議会)  
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

29

## 自主防災組織結成率

- 5丁目の開発による人口増により、稲毛海岸地区の結成率は60%を下回る



出典：2011～2013年度末自主防災組織結成状況(美浜区地域振興課)  
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

30

## 外国人比率



280人／8,573人  
(3.3%)

- 稲毛海岸地区は市平均(3.9%)より低い
- 近隣の高洲1丁目、高洲4丁目は比率が高い

出典：2014年10月末  
町丁別人口集計表  
(美浜区市民課)

31

## 地域団体役員数

※美浜区が役員を把握している5団体のみを掲載しています。

地域団体	役員数	うち 兼務者数
地区町内自治会連絡協議会	13	12
青少年育成委員会	58	23
スポーツ振興会	6	6
民生委員児童委員協議会	10	8
社会福祉協議会地区部会	33	25

### 兼務の状況

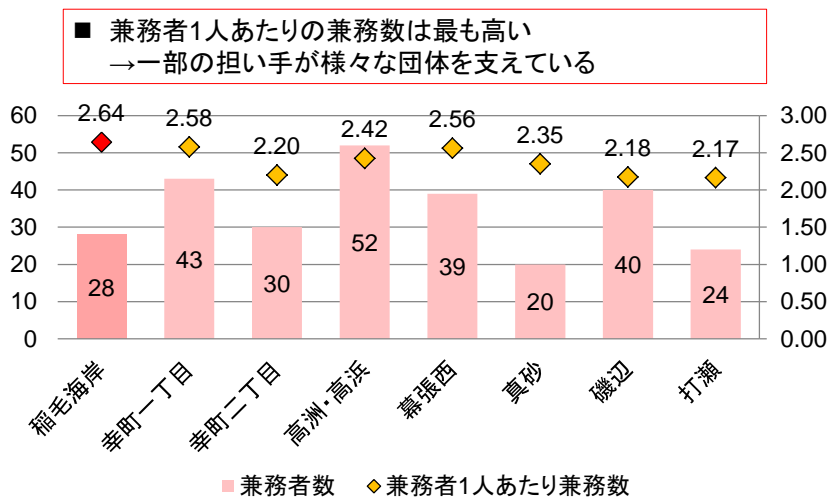
- ・兼務者数 28人(全役員74人)→3人に1人以上が兼務
- ・兼務者1人あたり兼務数 2.64
- ・最大兼務数 4(3人)

出典：5団体役員調査(美浜区地域振興課 2014年3月実施)

32



## 地区別 地域団体役員 の兼務状況比較



出典:5団体役員調査(美浜区地域振興課 2014年3月実施)

33

## これまでの区連協・市連協要望

- 稲浜小への子どもルーム設置  
(平成24・26年度)  
対応:時期等を検討する
- 稲毛第二小前道路の制限速度を  
40km/h→30km/hに(平成25年度)  
対応:市から千葉西警察署に検討を依頼
- パット稲毛跡地周辺の街路灯増設  
(平成25年度)  
対応:区から土地所有者に依頼し、  
平成25年11月に土地所有者が照明設置

34

## 地区の課題

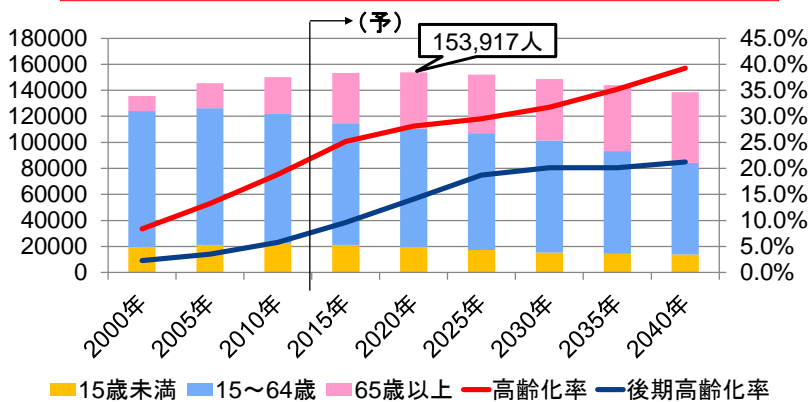
- 地域団体役員の手確保
- 新しい住宅エリアの住民の地域参加（自治会結成等を含む）
- 2040年以降の急速な高齢化

35

【参考】

## 美浜区の将来推計人口・年齢別人口構成

- 区の人口は2020年の約154,000人をピークに減少
- 高齢化率は2010年の18.9%から2040年には39.3%に



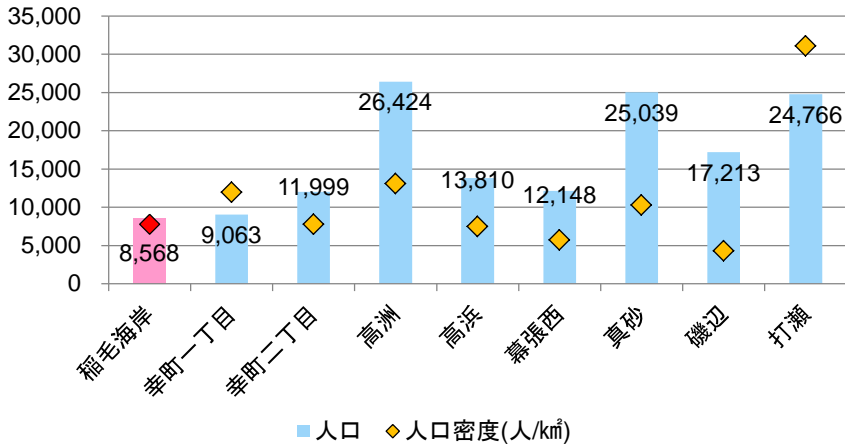
出典：2000年、2005年、2010年国勢調査  
将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

36

【参考】

## 地区別 人口・人口密度

■ 地区人口は比較的少なく、人口密度は中程度

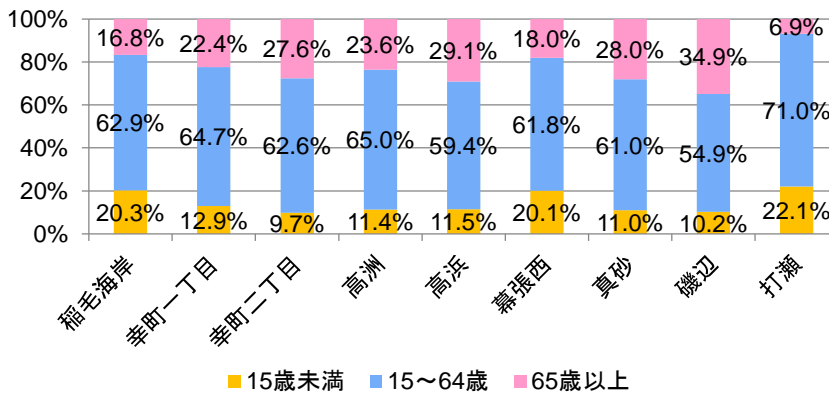


出典：2014年9月末町丁目別年齢別人口(千葉市統計課)

【参考】

## 地区別 年齢別人口構成比

■ 高齢化率は9地区中2番目に低い  
■ 子供の構成比は2番目に高い

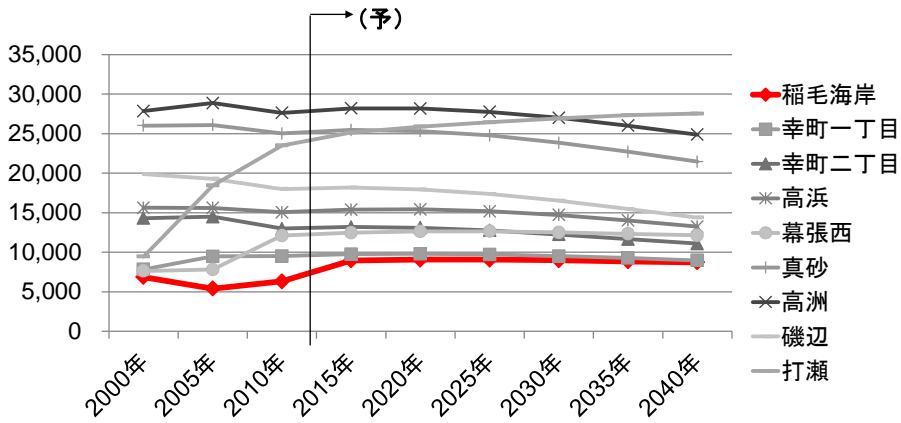


出典：2014年9月末町丁目別年齢別人口(千葉市統計課)

【参考】

## 地区別 将来推計人口

■ 人口は2015年以降ほぼ横ばいで推移



出典：2000年、2005年、2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)